

一般競争入札（総合評価落札方式）に関する質問及び回答（Q&A）

最終更新日：2026年8月6日
独立行政法人情報処理推進機構

件名：調達情報統合管理ツールの開発及び保守業務

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答	回答掲載日
1	II. 契約書（案）	p.6	再請負の制限 第2条 2	再請負をする際には事前に書面により届け出が必要とありますが、こちら はいつの時点までに必要でしょうか。	再請負先と契約する前に届け出いただくことが前提となります。 タイミングとしては、契約締結手続きの際、また、契約 期間の途中において再請負することとなった場合は、随時届 け出いただくこととなります。	2026年7月29日
2	II. 契約書（案）	p.7	契約不適合責任 第9条 5	「前各項において、甲は、乙の責めに帰すべき事由による契約不適合に よって甲が被った損害の賠償を、別途乙に請求することができる」とあり ますが、こちらに逸失利益の賠償は含まれますでしょうか。	含まれ得ます。ただし、相当因果関係があり、予見可能性が 認められる範囲に限られます。	2026年7月29日
3	II. 契約書（案）	p.8	損害賠償 第14条	「乙に故意又は重大な過失がある場合を除き」とありますが、こちらの記 載に当てはまるものについての賠償額の上限はないという理解でよろしい でしょうか。	「乙に故意又は重大な過失がある場合」については、ご認識 の通り、賠償額上限は適用されません。ただし、賠償の対象 となるのは、実際に生じた損害であって、相当因果関係があ り、予見可能性が認められる範囲に限られます。	2026年7月29日
4	III. 仕様書	p.18	1.3.2 利用形態	執務用VDIはインターネットへアクセスが可能でしょうか。またVDIの接 続元のグローバルIPアドレス帯は固定できますでしょうか。	執務用VDIはWebフィルタリングを介してインターネットへ のアクセスが可能です。 またVDIの接続元のグローバルIPアドレス帯は固定できま す。	2026年7月29日
5	III. 仕様書	p.31	8.2 環境移行	IPAクラウドのAWS Organizations及びAWS Control Towerによって管 理、統制、制限している内容を教えてください。 ・発見的統制での監査、管理している内容 ・予防的統制で制限している内容 ・その他セキュリティ統制(Security HUB/GuardDuty)、ログ統制 (CloudTrail/config) など	以下のとおり、AWS Control Tower及び他AWSサービスに よって統制等を行っています。 詳細な内容については契約後にご共有させていただきます。 ・発見的統制での監査、管理している内容：AWS Configや Amazon GuardDuty等のAWSサービスを用い、AWS Security Hubにて検知できる体制を整備。 ・予防的統制で制限している内容：SCPにより利用可能リー ジョン等の一般的な制限を行い、AWS Control Towerで統制 を管理。 ・その他セキュリティ統制(Security HUB/GuardDuty)、ロ グ統制（CloudTrail/config）など：AWS Control Towerの実 装によりAWSのベストプラクティスにある項目はおおよそ実 施しております。	2026年7月29日

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答	回答掲載日
6	IV. 入札資料作成要領及び評価手順	p.43	第2章 提案書の作成要領及び説明 2.1 提案書の構成及び記載事項	提案書の構成に含まれない事項のうち、業務の円滑な遂行に当たり、貴機構との連携方法、役割分担、資料・情報の提供時期等について記載が必要となる場合があります。これらの事項については、各評価項目に対応する章に記載することは可能でしょうか。 また、記載に当たっての留意事項（記載可能な範囲、記載箇所、条件付き提案と見なされないための基準等）があれば御教示ください。	各評価項目に対応する章に記載することは可能です。記載にあたっての留意事項は特段ありません。提出いただいた提案書等に不明な点等あった場合は、ヒアリングにてお伺いさせていただきます。	2026年7月29日
7	III. 仕様書	p.19	2.1 全体概要	組織マスタ、ユーザーマスタを調達情報管理ツール内に持つイメージで記載されていますが、IPAの職員様が利用しているログインIDや組織情報とは別に、調達情報管理ツール内で持つイメージでしょうか。 ユーザー認証はAWSのCognitoを利用し、組織情報などの情報をマスターデータで保持するイメージでよろしいでしょうか。	後日回答します。	2026年8月6日
8	III. 仕様書	p.17	1.1.1 調達管理簿運用の経緯	調達管理簿が35ファイルあるとのことですか、35種類の内容は大幅に違う内容でしょうか。 原議情報登録、更新画面は、原議情報の種類毎に入力内容が切り替わるが、その後の発注、検査、支払いなどのフローは同一という理解で合っているでしょうか。	35ファイルは、部署ごとに作成されているものであり、内容（項目・フォーマット）は同じものです。 原議情報登録、更新画面等は共通のものを想定しています。 その後の発注、検査、支払などのフローは、部署ごとに変わるものではなく、仕様書「3.2 業務機能要件」に記載のとおりとなります。	2026年8月6日
9	III. 仕様書	p.17	1.1.1 調達管理簿運用の経緯	現行の操作・運用マニュアル及び、使用している35ファイルについて、資料回覧やドキュメント提供いただくことは可能でしょうか。	提供の予定はございません。仕様書「1.1.1 調達管理簿運用の経緯（1）管理簿で管理している情報群」等の記載を参考にしてください。	2026年8月6日
10	III. 仕様書	p.17	1.1.1 調達管理簿運用の経緯	認証基盤はIPA様管理のAWS Cognitoを利用することでよろしいでしょうか？ 以下を想定しております。 ・パスワードポリシーはCognito標準機能で実現する ・標準機能で実現できない要件がある場合は別途協議を行う	後日回答します。	2026年8月6日

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答	回答掲載日
11	Ⅲ. 仕様書	p.28	5.2.2 セキュリティ対策要件 (14) パスワードに関する対策	項番10の質問にてCognitoを利用する想定となった場合の質問です。 入札説明書に「初期パスワードをシステムで生成する場合は、推測が困難な文字列で発行する。」と記載されていますが、本システムは基本的にメールを利用しないと理解しています。 この場合初期パスワード、リセットパスワードを利用者に通知することが困難になると考えております、初期パスワード、リセットパスワードはルールベースでのパスワードとすることは可能でしょうか？	後日回答します。	2026年8月6日
12	Ⅲ. 仕様書	p.21	3.2.1 実現機能 (2) 更新抑止機能	支払回数が複数回となる場合、前払いと後払いが混在することはないと考えてよろしいでしょうか。	混在する場合があります。	2026年8月6日
13	Ⅲ. 仕様書	p.18	1.3.1 クラウドサービスの活用	本番環境のAWSはIPA様が用意したAWS環境上で動作する認識です、アクセス制限などの設定はIPA様が実施するとの認識でよろしいでしょうか。	IPAより情報を提供しますので、請負者をお願いする予定です。	2026年8月6日
14	Ⅲ. 仕様書	p.24	表 4 データ概要 一覧	「No.5 請求書・領収書情報」に検査員という項目がありますが、検査員IDのような情報で管理されているわけではなく、名前の欄があるだけでしょうか。	ご認識のとおりです。	2026年8月6日
15	Ⅲ. 仕様書	p.24	表 4 データ概要 一覧	「No.1 基本情報」の「何い」文書の起案者は、基本情報をツールに登録したユーザーという認識で合っているでしょうか。	異なる場合があります。	2026年8月6日
16	Ⅲ. 仕様書	p.21	表 2 調達情報統合 管理ツール 機能 一覧	「各種マスタ管理」に通貨マスタがありますが、このマスタはどのように使われるのでしょうか。 表示上の通貨名や単位のみを管理する認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。	2026年8月6日
17	Ⅲ. 仕様書	p.21	表 2 調達情報統合 管理ツール 機能 一覧	「各種マスタ管理」にオーダー番号マスタがありますが、このマスターはどういった項目を管理するのでしょうか。	予算管理を行うための項目です。	2026年8月6日

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答	回答掲載日
18	Ⅲ. 仕様書	p.21-p.22	3.2.1 実現機能	納品検査後、検査NGとなった場合はどのようなフローになるのでしょうか。 調達中止などもありえるでしょうか。 フローの想定：検査NG、再納品待ち、再検査。以降は既存のフローに戻る	本ツールでは「検査NG」は管理することは想定していません。調達部署が検査OKとなった情報を登録する運用を想定しています。 調達が途中で中止となる場合はあります。	2026年8月6日
19	Ⅲ. 仕様書	p.23	表 3 画面説明一覧	画面説明に「財務部に届いた請求書をPDFにして一括登録する画面」とあるのですが、PDFを読み込んで自動的に請求データを生成する必要があるという意味でしょうか。	必ずしも必要ではありません。基本的にはファイルの一括登録機能を想定しています。	2026年8月6日
20	Ⅲ. 仕様書	p.23	表 3 画面説明一覧	画面説明に「コーポレートカードの利用明細を登録する画面」とありますが、こちらは利用明細を手動で入力する画面であるという認識でよろしいでしょうか。	基本的にはご認識のとおりです。 なお、利用明細はPDFファイルで提供されます。	2026年8月6日
21	Ⅲ. 仕様書	p.37	12.3業務スケジュール	開札（9/10）から契約締結までの期間はどの程度か。提示スケジュール上、要件定義は9月中完了の想定か。	開札から概ね5営業日程度で契約締結を予定しております。 ただし、必要書類の提出・相互の確認ののちの契約締結となることにご留意ください。また、要件定義の9月中完了はあくまで想定となります。年度内（2026年度）に開発完了を重視しており、9月中完了にはこだわりはありません。	2026年8月6日
22	Ⅲ. 仕様書	p.37	12.3業務スケジュール	受入テスト開始日・運用開始日は固定か。合理的な理由がある場合のスケジュール見直しの協議余地はあるか。	受入テスト開始は2027/2/1の予定で、事業者と調整可能です。一方、運用開始は仕様書のとおり、2027/4/1で固定です。	2026年8月6日
23	Ⅳ. 入札資料作成要領及び評価手順	p.46	第4章 評価項目一覧の構成と記載要領	提案書の評価区分「遵守」について、仕様書の対応内容を提案書内にすべて具体的に列挙する必要があるか。	入札説明書46ページに記載のとおり、「遵守確認欄」に○×を記載してください。全項目の具体列挙は不要です。	2026年8月6日
24	Ⅲ. 仕様書	p.17	1.1 背景	現行の調達管理簿に関する設計書やマニュアルは存在するか。	現行はExcelでの運用のため設計書はありません。マニュアルとしては入力時の留意事項程度のものがあります。 事業者からの提案も含め、今後の業務の運用を変更することも検討しています。	2026年8月6日
25	Ⅲ. 仕様書	p.17	1.1 背景	現行業務フローやExcelでの作業内容の説明会などは別途設けられるか。	説明会を設ける予定はありません。	2026年8月6日

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答	回答掲載日
26	Ⅲ. 仕様書	p.37	12.3業務スケジュール	受入テストの観点（内容）で現時点の想定はどのようなものか。稼働準備（マニュアル作成・教育・リリース準備）の役割分担の認識に相違はないか。	受入テストは、2027/4/1運用開始に向け、職員が迷わず使えることを主眼に置いています。教育等は仕様書に記載のとおり、事業者は適宜支援いただくこととし、職員への展開はIPAが主体として実施します。	2026年8月6日
27	Ⅲ. 仕様書 Ⅴ. 評価項目一覧	p.34 p.53	11.3 体制管理 7.2.3及び7.2.6	Ⅴ. 評価項目一覧中、7.2.6の評価項目「Ⅲ仕様書「11.3（9）」に示す事項を遵守すること。」と記載されていますが、「Ⅲ仕様書「11.3（7）」に示す事項を遵守すること。」の誤りではないでしょうか。	ご認識のとおりです。ご指摘の点を含め、入札説明書及び別紙Ⅴ. 評価項目一覧を修正していますので、ご確認ください。	2026年8月6日
28	Ⅲ. 仕様書	p.36-p.37	12.1.1(1)の作業項目、12.3の業務スケジュール	12.1.1(1)の作業項目として要件定義に関する作業が記載されていません。一方、12.3の業務スケジュールでは外部委託の開発作業として、要件定義の矢羽根が記載されています。請負業者への委託作業の範囲としてはどちらが正しい内容でしょうか。	請負者への委託作業は要件定義を含みます。仕様書にてIPAとしての要件（要望事項）をお示しているの、実現したい要件に対する認識の一致を図る場とご理解ください。	2026年8月6日
29	Ⅲ. 仕様書	p.36-p.37	12.1.1(1)の作業項目、12.3の業務スケジュール	契約締結後の要件明確化及び協議の結果、新たな要件又は仕様変更が発生した場合の取扱いについてご教示ください。	仕様書「11 プロジェクト管理要件」でお示ししているように各種管理業務を遂行してください。	2026年8月6日
30	Ⅲ. 仕様書	p.17	1.1.1調達管理簿運用の経緯	現行業務や現行運用の内容を理解するため、業務部門のご担当者様から説明を受ける機会を設けていただくことは可能でしょうか。	業務部門の担当者から説明を行う機会を設ける予定はありません。	2026年8月6日
31	Ⅲ. 仕様書	p.18	1.3.1クラウドサービスの活用	IPAクラウド環境において利用可能なAWSサービス一覧又は利用制限事項をご提示いただくことは可能でしょうか。	項番5をご確認ください。	2026年8月6日
32	Ⅲ. 仕様書	p.36	12.1.1.開発作業	システム環境構築が開発作業に含まれておりますが、環境構築にあたり、受託者にて構築を行う範囲と、IPA様にてご提供いただける範囲についてご教示ください。	仕様書「8.2 環境移行」をご確認ください。 IPAからお示しできる内容は項番5をご確認ください。	2026年8月6日

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答	回答掲載日
33	Ⅲ. 仕様書	p.37	12.3業務スケジュール	本案件は、新規Webシステム開発、AWS環境構築、IPAクラウドへの移行、各種テスト対応等を含み、契約締結後の協議により具体化する事項も複数含まれるものと認識しております。運用開始日(2027年4月1日)は必須要件との認識でよろしいでしょうか。また、要件具体化やIPA様レビュー結果による工程への影響が生じた場合、運用開始日の見直しについて協議の余地はございますでしょうか。	運用開始日は必須要件です。仕様書「11 プロジェクト管理要件」でお示ししているように各種管理業務を遂行してください。	2026年8月6日